

日本分子生物学会・第46回年会運営に ついてのアンケート 集計結果

ポジション別: 大学・研究所等の常勤研究者

回答者数: 315名

質問1. 46回年會に参加されましたか

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 オンサイト(神戸会場)参加+オンライン先行プログラムの一部または全部をライブで視聴した	105	33.3%							
回答2 オンサイトのみ参加した(オンラインプログラムはオンデマンドで視聴済み/視聴予定)	175	55.6%							
回答3 オンラインプログラムのみ参加した(またはオンデマンド視聴のみした)	6	1.9%							
回答4 参加しなかった	29	9.2%							
合計	315								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問2. あなたのポジションは

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 学部学生	0	0.0%							
回答2 大学院生	0	0.0%							
回答3 ポスドク等非常勤研究者	0	0.0%							
回答4 企業研究者	0	0.0%							
回答5 大学・研究所等の常勤研究者	315	100.0%							
回答6 その他	0	0.0%							
合計	315								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問3. あなたの年齢は

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 19歳以下	0	0.0%							
回答2 20-24歳	0	0.0%							
回答3 25-29歳	3	1.0%							
回答4 30-34歳	21	6.7%							
回答5 35-39歳	36	11.4%							
回答6 40-44歳	41	13.0%							
回答7 45-49歳	71	22.5%							
回答8 50-54歳	42	13.3%							
回答9 55-59歳	61	19.4%							
回答10 60-64歳	31	9.8%							
回答11 65-69歳	6	1.9%							
回答12 70歳以上	2	0.6%							
回答13 回答しない	1	0.3%							
合計	315								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4. ジェンダーについて

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 女性	84	26.7%							
回答2 男性	224	71.1%							
回答3 回答しない	6	1.9%							
合計	314								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問5. 所属する学会について<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 日本分子生物学会	297	94.3%							
回答2 日本生化学会	77	24.4%							
回答3 日本癌学会	45	14.3%							
回答4 日本細胞生物学会	33	10.5%							
回答5 日本神経科学学会	25	7.9%							
回答6 日本生物物理学会	16	5.1%							
回答7 日本発生生物学会	27	8.6%							
回答8 日本農芸化学会	26	8.3%							
回答9 日本遺伝学会	15	4.8%							
回答10 日本免疫学会	14	4.4%							
回答11 日本植物生理学会	10	3.2%							
回答12 その他	116	36.8%							
合計	701								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問6. オンライン先行開催期間のシンポジウムについて<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 総合的に満足度は高い	85	27.0%							
回答2 総合的に不満が残る	22	7.0%							
回答3 テーマ・セッション数・シンポジウムの長さ・海外からのシンポジストの数、いずれも適切であると感じた	43	13.7%							
回答4 テーマが偏っている・セッション数やシンポジウムの長さ、海外からのシンポジストの数などに適切でないと感じる点があった	11	3.5%							
回答5 特になし	126	40.0%							
回答6 その他	47	14.9%							
合計	334								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問7. 公募シンポジウムについて<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 オンサイト開催のシンポジウムは、テーマ・セッション数・シンポジウムの長さ・海外からのシンポジストの数、いずれも適切であると感じた	164	52.1%						
回答2 オンサイト開催のシンポジウムには、テーマが偏っている・セッション数やシンポジウムの長さ、海外からのシンポジストの数などに適切でないと感じる点があった	34	10.8%						
回答3 オンサイトのシンポジウムはちょうどよい長さだと感じた	138	43.8%						
回答4 オンサイトのシンポジウムの時間は全体的にもっと長い方がよい	10	3.2%						
回答5 オンサイトのシンポジウムの時間は全体的にもっと短くてよい	12	3.8%						
回答6 シンポジウム企画公募で「指定演者のうち30%程度を女性講演者とする」ことが応募条件に入っていた点については、賛同し支持する	76	24.1%						
回答7 シンポジウム企画公募で「指定演者のうち30%程度を女性講演者とする」ことが応募条件に入っていた点について、理解はするが適切であったか疑問が残る	60	19.0%						
回答8 シンポジウム企画公募で「指定演者のうち30%程度を女性講演者とする」ことが応募条件に入っていた点については、適切でないと思う	23	7.3%						
回答9 特になし	32	10.2%						
回答10 その他	31	9.8%						
合計	580							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 オンサイト(神戸会場)でのポスター発表はよかった	201	63.8%						
回答2 オンサイトでのポスター発表はよくなかった	11	3.5%						
回答3 ポスターはオンサイトのみでよかったと思う	92	29.2%						
回答4 ポスターはオンラインもあったほうがよかったと思う	19	6.0%						
回答5 ポスターセッションの時間(2時間)はちょうどよい長さだ	97	30.8%						
回答6 ポスターセッションの時間はもっと長い方がよい	47	14.9%						
回答7 ポスターセッションの時間はもっと短くてよい	9	2.9%						
回答8 (発表者として)サイエンスピッチ(ポスター発表者がポスターセッション前に行ったショートトーク)はよかった/今後の年会で機会があればやりたい	18	5.7%						
回答9 (発表者として)サイエンスピッチはよくなかった/ポスターセッションのみでよい	5	1.6%						
回答10 (参加者として)サイエンスピッチはよかった	75	23.8%						
回答11 (参加者として)サイエンスピッチはよくなかった/ポスターセッションのみでよい	36	11.4%						
回答12 特になし	22	7.0%						
回答13 その他	77	24.4%						
合計	709							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問9. オンサイト会期中の各日のタイムテーブルについて<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 全体的にバランスがよかった	178	56.5%							
回答2 シンポジウムの時間帯で常に日本語/英語で聞けるセッションが並行していることはよかった	71	22.5%							
回答3 英語で聞けるシンポジウムを全日程に配置したことはよかった	54	17.1%							
回答4 英語で聞けるシンポジウムは1日に固めて配置したほうがよかった	8	2.5%							
回答5 一般演題(ポスター発表)が午後一番の時間帯であることはよかった	94	29.8%							
回答6 一般演題(ポスター発表)が午後一番の時間帯であることに不満が残った	12	3.8%							
回答7 その他	26	8.3%							
合計	443								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問10. フォーラムについて<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 フォーラムはよかった	59	18.7%							
回答2 フォーラムはよくなかった	2	0.6%							
回答3 フォーラムには参加しなかった	184	58.4%							
回答4 フォーラムの時間帯・長さ(18:30~20:00の90分間)は適切であった	13	4.1%							
回答5 フォーラムの終了時刻をもっと早めてほしい	48	15.2%							
回答6 その他	21	6.7%							
合計	327								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問11. 年会の発表言語について(本年会では、指定企画シンポジウム:英語、公募企画シンポジウム:オーガナイザーに一任)<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 指定企画に日本語の講演セッションも入れてほしい	87	27.6%							
回答2 講演セッションの言語は、発表はすべて英語でも良いが、質疑に関しては適宜日本語使用を許可したり、オーガナイザーに訳や補足を入れるなどの配慮をしてほしい	83	26.3%							
回答3 講演セッションのスライドは英語または日英併記など英語圏の参加者に配慮しつつ、発表言語は英語にこだわらず議論が充実することを優先するべき	142	45.1%							
回答4 その他	31	9.8%							
合計	343								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問12. 本年会では昨年に続き、一人一演題の制限を廃止しました(ただし複数演題の投稿は異なる研究内容に限るものとした)。また、発表者に演題投稿時Graphical Abstractの提出をお願いしたり、講演セッションには内容が一目で把握できるようセッション名の略称も付けていただくなど、参加者のサイエンティフィックな出会いの可能性を広げる仕掛けを試みています。その点についてお聞きします<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 複数演題を投稿できるのはよいと感じた	119	37.8%							
回答2 複数演題を投稿できることにあまりメリットを感じなかった	73	23.2%							
回答3 一人一演題にするべきだと思う	60	19.0%							
回答4 (発表者として) Graphical Abstractはよいと感じた	64	20.3%							
回答5 (発表者として) Graphical Abstractにあまりメリットを感じなかった	73	23.2%							
回答6 (参加者として) Graphical Abstractはよいと感じた	111	35.2%							
回答7 (参加者として) Graphical Abstractにあまりメリットを感じなかった	68	21.6%							
回答8 シンポジウム・フォーラムのタイトルに略称が付いていたので、行ってみたいセッションを探す際にわかりやすく便利だと思った	71	22.5%							
回答9 シンポジウム・フォーラムのタイトルに略称が付いていたことにはあまりメリットを感じなかった	44	14.0%							
合計	683								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問13. 年会の参加登録/演題登録/要旨・プログラム検索/視聴サイトプラットフォーム一体型システム(AGRISMILE社ONLINECONF;オンライン講演セッションはZoomウェビナーで開催)や当日のトラブル対応などのオンラインサポート体制についてお聞きします<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 参加登録・演題登録は問題なく行うことができた	223	70.8%							
回答2 参加登録・演題登録時には操作に戸惑う点があった	17	5.4%							
回答3 要旨・プログラム検索/視聴サイトは全体的にわかりやすく、使いやすかった	64	20.3%							
回答4 要旨・プログラム検索/視聴サイトはわかりにくく、使いにくい点があった	111	35.2%							
回答5 要旨・プログラム検索/視聴サイトがスマートフォン画面にも対応していることは便利だと感じた	61	19.4%							
回答6 要旨・プログラム検索/視聴サイトをスマートフォンで使う機会はあまりなかった	24	7.6%							
回答7 オンライン講演セッションで問題なく発表/視聴することができ、運営側のサポートは適切であったと思う	23	7.3%							
回答8 オンライン講演セッションで発表/視聴するまでのトラブル解決に困難を感じ、運営側のサポートが足りなかったと思う	6	1.9%							
回答9 その他	63	20.0%							
合計	592								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問14. 本年会では一般演題のタイトル情報まで入った詳細な(A5サイズ・厚さ1~2cmの)年会プログラム集冊子や年会アプリは作成しませんでした。これらについてお聞きします<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 ポケットプログラム(日程表などの基本的な情報が記載されたプログラム小冊子)やONLINE CONFの要旨・プログラム検索機能、年会HPIに公開されているプログラムPDF、神戸会場案内図・案内看板等があったので、特に不便とは感じなかった	167	53.0%							
回答2 プログラム集冊子(詳細版)がないことに不便を感じた	64	20.3%							
回答3 アプリがないことに不便を感じた	68	21.6%							
回答4 目当ての会場になかなかたどり着けず、案内が足りないと感じた	42	13.3%							
合計	341								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問15. 年会特別企画や学会企画について、良かったと思うものを選んでください<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 EMBOとの連携プログラム(MBSJ-EMBO合同企画ランチョンセミナー「あなたの論文はどこへ行く:論文出版とオープンサイエンスに関する対話」、Poster Clinic by EMBO Press)	35	11.1%							
回答2 2.「サイエンスイラストレーターの仕事紹介」ポスター展示(科学コミュニケーションフォーラム関連企画)	55	17.5%							
回答3 キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナー「事前アンケートから考える:人生の選択肢を増やすためのPh.D.」「博士についてのお悩み解消!~Ph.D.の価値と可能性について~」	38	12.1%							
回答4 研究倫理委員会企画・研究倫理フォーラム「生成AIと科学研究:共創の未来を目指して」	25	7.9%							
回答5 高校生発表	47	14.9%							
回答6 学会誌Genes to Cellsカバーアート展示	55	17.5%							
回答7 例年より大きなサイズの参加章(紙強化版)& DBCLS統合TVのイラストアイコン貼付シール	64	20.3%							
回答8 開催地とのタイアップ企画:灘五郷の日本酒 飲み比べコーナー&神戸スイーツ販売	52	16.5%							
回答9 特になし	91	28.9%							
合計	462								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問16. 企業展示会等でよかったと思うものを選んでください<複数回答可>

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 企業展示のデジタルスタンプラリー	33	10.5%							
回答2 出展者セミナー(展示会場内の特設会場でスポンサー企業が行ったショートプレゼンテーション)	49	15.6%							
回答3 企業協賛によるバイオテクノロジー・バイテクショート(ランチョン)セミナー	105	33.3%							
回答4 どれにも参加しなかった	82	26.0%							
回答5 特になし	62	19.7%							
合計	331								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問17. 年会参加登録費についてお聞きします(MBSJ2023の事前参加登録費:[正会員13,000円、学生会員3,000円、非会員[一般演題投稿なし]17,000円、[あり]30,000円、学部学生1,000円]、オンライン聴講のみ:[正会員3,000円、学生会員500円、非会員7,000円、学部学生500円])

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 この年会の内容であれば満足できる金額だと思う	83	26.3%							
回答2 この年会の内容であれば許容できる金額だと思う	141	44.8%							
回答3 この年会の内容であれば不満が残る	73	23.2%							
合計	297								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問18. 本年会の開催形式(「オンライン先行期間」+「神戸会場での完全オンサイト開催」併用形式)について

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
回答1 よかった	77	24.4%							
回答2 課題は残ると感じたが今回の試みを支持する	115	36.5%							
回答3 今回の試みを評価するが今後の年会は別形式での開催を希望する	72	22.9%							
回答4 よくなかった	24	7.6%							
合計	288								

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問19. 今後の年会の開催形式についてお聞きします

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 オンサイト開催期間・オンライン開催期間を設けて別のプログラムをそれぞれ行う併用形式とし、オンライン会期を増やすことで同時使用会場数・チャンネル数を双方抑え、地方都市もオンサイト会場の選択肢に入れるのがよい	55	17.5%						
回答2 オンサイト開催を基本とし、一部のプログラムをオンラインでもリアルタイム参加・視聴可とするハイブリッド開催(オンサイト+オンライン)がよい	157	49.8%						
回答3 完全オンサイト開催がよい	89	28.3%						
回答4 オンラインの比重が大きめのハイブリッド開催として、地方都市もオンサイト会場の選択肢に入れるのがよい	11	3.5%						
回答5 完全オンライン開催がよい	3	1.0%						
合計	315							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問20. 今後の年会における他学会との連携についてお聞きします

項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1 分子生物学会単独開催の年、単独開催の年会で他学会との連携企画を行う年、他学会との合同大会の年が数年ごとにそれぞれあるのがよい	81	25.7%						
回答2 単独開催の年会で他学会との連携企画を行う年をもっと増やすのがよい	16	5.1%						
回答3 他学会との合同大会の年をもっと増やすのがよい	44	14.0%						
回答4 ConBio2017の時のようなコンソーシアム形式の合同大会を行うのがよい	34	10.8%						
回答5 分子生物学会は個々の発表者が幅広い分野から集まっているので、あまり他学会との合同開催・連携企画の必要性を感じない	129	41.0%						
回答6 その他	11	3.5%						
合計	315							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています